



# 特集 50周年を迎える材木町よ市。

昭和49年9月、材木町の活性化を目的に商店街有志が立ち上げた「材木町よ市」は、今年で50周年を迎えます。その歴史や変遷、今後への思いを実行委員会の方々にお聞きしました。

## 歴史あるまちの賑わいを守る

4月1日、盛岡市の風物詩として知られる「材木町よ市（以下、よ市）」が、今年もスタートしました。さんさパレードと紅白大福餅のお振舞いで賑やかに開幕。季節の野菜やお惣菜、新鮮な海産物、自家焙煎コーヒーやお菓子、ビールや日本酒、手仕事品など、80軒近い出店者が並び、数多くのお客さんが訪れました。

「よ市」の始まりは、半世紀以上前。昭和45年の岩手国体開催を機に、夕顔瀬橋から市の中心部に入る幹線道路が中央通りに移行したこと、郊外の大型店舗に車で外出するスタイルが主流となったことで、材木町周辺の活気が失われていました。それを懸念し、材木町商店街振興組合青年部が中心となって「市」の開催を提案。昭和49年9月に第1回「よ市」が開催されたのです。

およそ430メートルの商店街を歩行者専用道路にし、4月から11月まで毎週土曜日の夕方開催される「よ市」。今や、観光ガイドに必ず紹介されています。

「よ市」の始まりは、半世紀以上前。

## 楽しみ、集う文化発信の場へ

そして、50周年の節目を機に実行委員長を務めることになった土川英司さんは、「単にモノを対面販売するだけでなく、つながりを生む機会づくりを心掛けたい」と今後に向けた思いを話します。なんでもやってみることが Motto の「よ市」らしく、時代に合ったスタイルを考えていきたいと土川さん。

「訪れる皆さんが買うことをどう楽しむか？いろいろ試していきたいです。」

今年度から、よ市の空きスペースを有効活用したチャレンジショップも開催。新しい試みに取り組んでいます。

「430メートルの距離を楽しみ



店頭での対話も楽しみの一つ

ながら歩けるよう、空いた場所でパフォーマンスや表現活動する人も募集しています。売るだけではなく、より地域に開かれた「よ市」へ。今まで継承してきたものを守りながらも変化していきたいですね。

これまでも吹奏楽の演奏会やハワイアンフラの発表会、ダブルダッチ体験会など部活動やサークルの発表が行われています。「よ市」は何より主催者自身が当事者として楽しんでいること、時間をかけて醸された自由でアットホームな空気が魅力。50周年の節目を経て、なお進化する「よ市」は訪れるたびに新しい発見があります。立ち寄れなかった場所へは翌週の楽しみに、気軽に出かけてみませんか。



1978年のよ市の様子。第1回目が昭和49年（1974年）であったため、始まってまもないころの写真（提供/盛岡市材木町商店街振興組合）



これまで、多彩な企画を仕掛けてきた前実行委員長の菅原奎一郎さん

です。これは商店街行事としてかなり珍しいこと。「よ市」の動員力が公認された証でした。

これまで、13年にわたって実行委員長を務めてきた菅原奎一郎さんは、感慨深く語ります。長らくよ市に関わってきた菅原さんによると、地元クラフトビール醸造所「ベアレンビール」の出店を機に、来場者に変化が見られたといいます。

「ベアレンさんが出店してから、「よ市」のイメージも少し変わってきました。それまで野菜などの生鮮品販売が中心でしたが、お父さん世代も一緒に買い物にやってくる、ビールや焼き鳥を食べながら寛ぐスタイルが定着していったんです。子どもたち、家族連れも多くなりました。ここ数年はコロナ禍で飲食制限もありましたが、マナーを守りながら、みんなで楽しむイベントとして浸透

## 5つのキーワードをコンセプトに

した。藩政時代は鹿角街道、秋田街道から城下に入る北の玄関口で、江戸後期には、近江屋、恵比寿屋、宮田屋、豊島屋など大きな商家が立ち並びました。明治以降も厨川、滝沢、雫石から盛岡への入り口として栄えた由緒あるまちなのです。そうした歴史的背景も含めたまちの賑わいを守るべく青年部が知恵を絞り、誕生したのが「よ市」です。

「長町で開かれていた夜店（よみせ）がヒントだったようです。最初は出店者を集めるため、神子田朝市まで勧誘に向いたと聞きます。第1回は50店舗からスタートし、開催期間なども試行錯誤しながら進めていったそうです。その過程で、よ市には『萬一色々と多種にわたる』『余一余るほど豊富』『良一良い商品を』『与一お客様に提供する』『喜一満足していただく』と5つのキーワードをコンセプトに、50年間継承してきました。

立ち上げ当初『よ市』をひらがなにしたことは、とてもよい選択でした。『よ市』がはじまって15年ほど経つと、毎週土曜日の15時から19時まで車両通行止めの標識ができたん



文化発信の場として活用してほしいと話す実行委員長の土川英司さん